

- 問1 1842年に、幕府が異国船打払令を改めて、外国船に燃料や食料を与えることにしたきっかけとなった中国（清）の戦争は？
- 問2 『解体新書』の刊行をきっかけに、日本で発展することとなった学問分野を何という？
- 問3 江戸時代、日本から銅などを輸出する唯一の貿易港として利用された場所はどこ？
- 問4 江戸時代、蝦夷地においてアイヌ民族との交易を独占し、海産物などを流通させた大名を何という？
- 問5 天明の飢饉の後、幕府の権威を立て直すために寛政の改革を行い、困米の制などの対策をとった老中を誰という？
- 問6 武家諸法度などに違反した大名に対して行われた、領地の没収や取り潰しを何という？
- 問7 江戸時代、金貨が主に流通した東日本と、銀貨が主に流通した西日本の間で、異なる貨幣を計算して交換することを何という？
- 問8 生類憐みの令が発令された、徳川綱吉の時代のことを何という？
- 問9 元禄文化期に活躍し、人形浄瑠璃の脚本で有名な人物は誰？
- 問10 歌川広重の浮世絵が、パリ万国博覧会を通じて西洋の画家に与えた芸術的影響を何という？
- 問11 幕府が伊能忠敬に全国測量を命じた最大の目的は何の調査のため？
- 問12 幕府が外国船への対応を改め、やがて開国へと向かうきっかけとなった、1837年に起きた事件を何という？
- 問13 江戸時代、幕府から知行地を与えられ、寛政の改革における借金帳消しの対象となった、将軍直属の家臣たちを何という？
- 問14 江戸時代後期の町人文化において、庶民の生活や風俗、風景などを描いた絵画芸術を何という？
- 問15 享保の改革を行い、財政再建のために積極的に新田開発を推進した江戸幕府の第8代将軍は誰ですか？
- 問16 18世紀後半以降、各藩が財政を立て直すために行った、新しい農地を切り開く事業を何という？
- 問17 江戸幕府が全国で統一して使用するために定めた、金貨・銀貨・銭貨からなる貨幣制度全体を何という？
- 問18 公事方御定書を制定した人物は誰？
- 問19 江戸時代、大名が江戸と領地を往復するよう義務づけられた制度を何という？
- 問20 幕府がキリスト教禁止を徹底するために禁止した、ある国からの船の来航を何という？
- 問21 江戸幕府を開き、幕藩体制の基礎を築いた人物は誰？

## 答え合わせ・解説

問1	答え アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争での清の敗北は、当時の世界情勢における西洋諸国の強さを物語っていました。これを受けて、日本でも幕府が強硬な鎖国政策を続けていたのでは危険であるとの認識が広がりました。
問2	答え 西洋医学	杉田玄白らが『解体新書』を出版したことにより、西洋医学の知識は広く知られるようになりました。それまでの「病は気やバランスによるもの」という考え方に加え、内臓の構造などを実際に観察する「科学的」なアプローチが導入されました。
問3	答え 長崎	長崎の出島にはオランダ商館が置かれ、中国（清）との貿易も行われました。銅は重要な輸出品であり、銀とともに日本が海外から金や絹などを輸入するための決済手段として重視されました。
問4	答え 松前藩	松前藩はアイヌ民族に対して、生活必需品と引き換えに毛皮や海産物を得る「場所請負制」を展開しました。交易の利権を独占することで財政を支えましたが、過酷な労働や交易条件によりアイヌの人々と摩擦が生じることもありました。
問5	答え 松平定信	松平定信は、田沼意次の重商主義的な政治を否定し、儒教を重んじる厳しい政治を行いました。儉約を奨励し、備蓄米を確保する困米の制を設けるなど、農村の復興と財政の安定を最優先にしました。
問6	答え 改易	大名が武家諸法度に違反した場合や、幕府に背く行為をした際、幕府は「改易」を命じました。改易されると領地と城を没収され、大名の身分を失います。また、領地の場所を移す「転封（てんぽう）」も行われ、大名が特定の地に定着して勢力を強めることを防ぎました。
問7	答え 両替	異なる貨幣を用いる商人や藩同士が取引を行うためには、金と銀の交換が必要不可欠でした。この交換業務を専門に行うのが両替商です。彼らはただ交換するだけでなく、預金を受け入れたり、為替を発行して遠方への送金を代行したりする金融機関のような役割も果たしました。
問8	答え 元禄時代	元禄時代は、学問や芸術が奨励され、近松門左衛門の浄瑠璃や松尾芭蕉の俳諧などが生まれた華やかな時期です。一方で、徳川綱吉による文治政治が展開され、朱子学が重視されるなど思想面での変化も見られました。
問9	答え 近松門左衛門	近松門左衛門は、人形浄瑠璃の脚本を数多く執筆し、特に社会のルールと個人的な感情の狭間で苦しむ男女を描いた「心中物」で絶大な人気を誇りました。彼の書いた台本は人形浄瑠璃だけでなく、歌舞伎でも取り上げられ、日本演劇の黄金時代を築きました。
問10	答え ジャポニスム	歌川広重や葛飾北斎らの浮世絵は、ゴッホやモネといった画家に強い刺激を与え、「ジャポニスム」と呼ばれる日本趣味のブームを巻き起こしました。特に広重の「名所江戸百景」などの大胆な切り取り方は、西洋美術の伝統的な技法に変化をもたらしました。
問11	答え 海岸線	幕府は国防の観点から、日本の全貌と正確な海岸線の形を知る必要性に迫られました。伊能忠敬の測量は、もともとは個人的な事業でしたが、その精度の高さが幕府に評価され、公的な国家事業として認められるようになりました。特に、北方の蝦夷地から九州に至るまで、海岸に沿って歩き、詳細な測量データが記録されました。
問12	答え モリソン号事件	アメリカの商船モリソン号が、日本の漂流民を送り届けるという名目で浦賀に来航しましたが、幕府はこれを追い返しました。この事実を知った蘭学者の渡辺崋山らが、幕府の強硬な外交姿勢を批判し、日本の防衛について議論が高まりました。
問13	答え 旗本	旗本は、将軍の直臣として江戸城に勤務し、行政や軍事の役職に就いていました。彼らの経済状況が極端に悪化したため、幕府は「棄捐令」を出し、商人からの借金を一部帳消しにする特例措置を行いました。
問14	答え 浮世絵	：浮世絵は、当時の流行や風俗を題材にした木版画です。美人画や役者絵から始まり、江戸時代後期には歌川広重や葛飾北斎により風景画が人気を集めました。
問15	答え 徳川吉宗	徳川吉宗は、質素儉約を奨励し、目安箱の設置などで庶民の意見を取り入れました。さらに、幕府の収入を増やすために、全国的な新田開発を強く命じ、農業の生産力を上げる政策を進めました。
問16	答え 新田開発	各藩は米の生産量を増やすために荒れ地を開墾したり、干拓を行ったりする新田開発を推進しました。これにより耕地面積が拡大し、年貢収入の増加が期待されました。
問17	答え 三貨	江戸幕府は金貨、銀貨、銭貨の「三貨」の基準を定め、金座・銀座・銭座で製造を独占しました。東日本では金貨、西日本では銀貨が主に使われるなど地域差はありましたが、これらの貨幣によって全国的な商業ネットワークが整備され、貨幣経済が急速に普及しました。
問18	答え 8代将軍	吉宗は、政治の安定のためには公平な裁判制度が必要だと考え、1742年に裁判の基準となる「公事方御定書」を制定しました。これにより、それまで曖昧だった処罰の基準が明文化されました。
問19	答え 参勤交代	大名は江戸と領地を1年おきに往復する義務を課せられ、江戸には妻や子を人質として住まわせる必要がありました。膨大な費用がかかるこの制度により、大名は経済的に疲弊し、結果として幕府に従う力が強まりました。
問20	答え ポルトガル船の来航	幕府は、この一揆を鎮圧した後、キリスト教の教えを広める拠点となっていたポルトガル人たちの影響を完全に排除するため、ポルトガル船の来航を禁止しました。これにより鎖国体制がより一層強化され、日本との貿易はオランダや中国などに限定されることとなりました。
問21	答え 徳川家康	1603年に征夷大将軍に任命されて江戸幕府を開きました。彼は大名を厳しい法で縛り、身分制度を定めて社会を安定させました。全国の土地と民衆を、将軍家と各大名が分担して治めるという「幕藩体制」の根幹を作り上げました。